


(議員用)

令和5年4月4日

宝塚市議会議長 様

議員名 (※) 江原 和明 

(※) 自署しない場合は記名押印してください。

令和4年度 政務活動費収支報告書

宝塚市議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項の規定に基づき、下記のとおり、令和4年度政務活動費に係る収入及び支出を報告します。

記

1 収入 政務活動費 888,000 円

2 支出	科 目	金 額
	研究・研修会費	- 円
	調査費	- 円
	広報費	- 円
	広聴費	- 円
	要請・陳情活動費	36,880 円
	資料作成・購入費	- 円
	人件費	- 円
	事務費	- 円
	合 計	36,880 円

3 残 額 851,120 円

支 出 内 訳 書

科 目	内 訳	
研究・研修会費 (0 円)	(1) 会場費 (2) 講師謝金・旅費 (3) 出席者負担金・会費 (4) 旅費 (5) 交通費 (6) その他	- 円 - 円 - 円 - 円 - 円 - 円
調査費 (0 円)	(1) 旅費 (2) 交通費 (3) その他	- 円 - 円 - 円
広報費 (0 円)	(1) 広報紙・報告書印刷費 (2) 送料 (3) 会場費 (4) その他	- 円 - 円 - 円 - 円
広聴費 (0 円)	(1) 交通費 (2) 会場費 (3) 印刷費 (4) その他	- 円 - 円 - 円 - 円
要請・陳情活動費 (36,880 円)	(1) 旅費 (2) 交通費 (3) 印刷費 (4) その他	36,880 円 - 円 - 円 - 円
資料作成・購入費 (0 円)	(1) 資料作成費 (2) 翻訳料 (3) 書籍・新聞等購入代 (4) その他	- 円 - 円 - 円 - 円
人件費 (0 円)	(1) 賃金	- 円
事務費 (0 円)	(1) 文房具代 (2) 備品費 (3) 電話料 (4) その他	- 円 - 円 - 円 - 円

別紙様式 1

(会派名または議員名 江原 和明)

政務活動費支出書

支出科目	要請・陳情活動費	内 訳	旅費	支出番号	1
支 出 日	令和4年11月17日		支出金額	36,880 円	
支 出 先	J A L ・ J R 等				
支出内容	国土交通省大臣への陳情活動				
<領収書等添付欄> 裏面使用または別紙添付可			ポイント	0 無	円減額



JAPAN AIRLINES

WEB 1a63861d6b9b24b58b77591136ba5076
2022年11月14日 15:36

領 収 書
RECEIPT

下記の金額正に領収いたしました。

RECEIVED FROM : 江原 和明 様

金額

THE SUM OF : ¥ 34,320 円 (税込み)


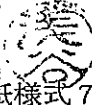






但し	IN PAYMENT OF	運賃として AIR FARE-FREIGHT
航空券番号	TICKET NUMBER	1312450663611
航空券発行日	DATE OF ISSUE	2022年11月14日
発行所	PLACE OF ISSUE	日本航空
備考	REMARKS	現金・クレジットカード・その他のお支払い分を含みます

日本航空株式会社
Japan Airlines Co., Ltd.

ご利用区間・運賃明細

お客様	搭乗日	出発地	到着地	便名	利用運賃	金額
EBARA KAZUAKI 様	2022年11月17日(木)	大阪(伊丹)	東京(羽田)	JAL112	特便割引1-タイプC(普通席)	¥16,910
	2022年11月17日(木)	東京(羽田)	大阪(伊丹)	JAL131	特便割引1-タイプC(普通席)	¥17,410

合計金額	¥34,320
------	---------

供 覧	議長	副議長	局長	次長	課長	副課長	係長	係	合 議
									

要請・陳情活動報告書 ✓

宝塚市議会議長 様

議員名 (※) 江原 和明

(※) 自署しない場合は記名押印してください。

要請・陳情活動の結果について、次のとおり報告します。

- 要請・陳情先 (名称・相手方氏名等) 国土交通省 斎藤 鉄夫大臣
- 要請・陳情活動の実施場所 (名称・所在地) 東京都千代田区霞が関 2-1-3 国土交通省 大臣室
- 期 間 令和4年11月17日
- 出張者氏名 (議員名) 江原 和明
- 要請・陳情活動の内容 (概要) ※成果、所見等については別紙を添付
防災・減災対策の推進に関する要望 (道路等、河川、橋梁)

6 旅費

①鉄道賃等

月 日	交通機関	経 路	金額	領収書の有無※	備 考
11月17日	阪急	小林～蛍池	540円	有・ <u>無</u>	往復
	大阪モノレール	蛍池～大阪空港	400円	有・ <u>無</u>	往復
	JAL	伊丹～羽田	34,320円	<u>有</u> ・無	往復
	東京モノレール	羽田空港～浜松町	1,000円	有・ <u>無</u>	往復
	JR	浜松町～有楽町	280円	有・ <u>無</u>	往復
	営団地下鉄	有楽町～桜田門	340円	有・ <u>無</u>	往復
			～		有・無
合 計			36,880円		

※原則として領収書の添付が必要だが、券売機での切符購入等で領収書が徴しがたい場合は、2,000円以内の支出に限り、本報告書への記入をもって領収書の添付に代えるものとする。

②宿泊料

人	泊	金額	計	円
7	交通費	ガソリン代		円
		高速代		円
		駐車場代		円
		自動車借上料		円
		計		円

【記入要領】

- ア 要請・陳情活動を実施した場合、この報告書を作成すること。
- イ 要請・陳情活動の成果、所見等については別紙を添付すること (書式は任意)。
- ウ 鉄道賃等は、現に要した実費を記入すること (領収書を別紙に添付する)。
ただし、行程等については経済的かつ合理的な経路及び方法によるものとする。
- エ 通常の経路以外の経路を用いた場合は、その合理的な理由を備考欄に記入すること。
- オ 宿泊料は、上限額 (13,000円) 以内で現に要した実費を記入すること (領収書を別紙に添付する)。
- カ 鉄道賃等と宿泊料がセットになっている場合は、鉄道賃等の項に合計金額を記入し、その旨を備考欄に付記すること。
- キ 交通費は、自家用車 (バイクを含む) 等を利用した場合に記入すること (領収書を別紙に添付する)。



1 1月17日 国土交通省 齋藤鉄夫大臣予算要望 報告書

1 4 : 4 5 国土交通省 1階ロビーに集合

参加者：山崎市長、伊藤孝江参議院議員、高橋光男参議院議員、山田宝塚土木事務所長
小寺技監、中村室長 他

1 4 : 5 0 国土交通省 4階大臣控室にて待機

1 4 : 5 5 齋藤 鉄夫 国土交通大臣へ宝塚市令和5年度予算要望書を提出・説明（15分）

内容としては、令和5年度予算編成に対する要望として

重点要望事業

1. 道路等、社会基盤施設の整備に必要となる予算の確保

災害時の避難・救助、迅速な復旧・復興に不可欠な都市計画道路の着実な整備や、新型コロナウイルス収束後の経済活動V字回復のためのポストコロナ社会を見据えた社会基盤施設の整備促進に必要となる予算の確保をお願いします。

都市計画道路・荒地西山線〔小林工区〕（平成8年度～令和8年度予定）

都市計画道路・競馬場高丸線〔鹿塩工区〕〔仁川宮西町工区〕（平成29年度～令和9年度予定）

都市計画道路尼崎宝塚線〔小浜南工区〕（兵庫県施工）（平成18年度～令和5年度予定）

2. 防災・減災、国土強靱化のための対策の充実

事前防災対策や老朽化対策を推進するため、「防災・減災、国土強靱化のための5ヶ年加速化対策」について、必要な予算・財源を例年以上の規模で確保をお願いします。

また、5ヶ年加速化対策後も、予算・財源を通常予算とは別枠で確保をお願いします。

二級河川武庫川水系武庫川流域治水対策事業（兵庫県施工・武庫川・支流大堀川）

3. 社会基盤施設の老朽化対策に必要となる予算の確保

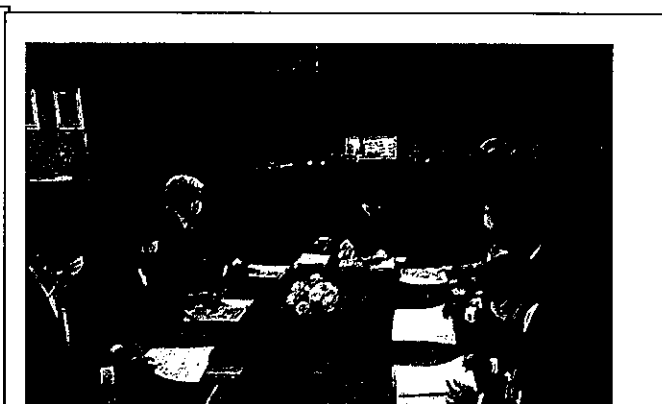
市民生活に密着した、インフラに潜む災害リスクを取り除き、安全・安心な生活基盤を確保するため、予防保全を含む老朽化対策事業の着実な実施に必要となる予算の確保をお願いします。

橋梁長寿命化事業、 道路舗装修繕事業、下水道ストックマネジメント

4. 災害復旧に係る体制強化

広域的な大規模災害時において、迅速かつ円滑な復旧等に資する、TEC-FORCE

(緊急災害対策派遣隊)の派遣や国による権限代行等が速やかに実施できる体制・機能の拡充・強化をお願いします。



国土交通省の大臣室にて、大臣に直接、地方自治体から要望活動を行う場合、現在の岸田内閣の与党会派の国会議員の紹介が大変重要です。今回の陳情活動に関して、地元宝塚市在住の伊藤孝江参議院議員の紹介で大臣要望の時間調整をお願いして実現しました。さらに、宝塚市出身である高橋光男参議院議員にも同席いただきました。

今回の予算要望事項については、兵庫県宝塚土木事務所の施工事業として中国自動車道宝塚ICの尼崎宝塚線への出入り口部分の県道整備も含まれていることから、同席していた山田宝塚土木事務所所長からも説明をいたしました。また、都市計画道路荒地西山線、同じく都市計画道路競馬場高丸線については小寺技監から、詳細な事業内容について説明をされました。

さらに、私からも都市計画道路の必要性や宝塚市内の狭い道路に関して、鉄道事業者の線路下を潜るアンダー方式工事はとても時間と財源がかかるが、とても重要な事業であることを申し上げた。

所感感想

今まで何回か、国土交通大臣に予算要望の機会に参加させて頂きましたが、今回の齋藤大臣の対応は、今までで一番丁寧ではっきりとした返事を頂きました。自らの言葉での予算検討をするという返事と共に、同席していた、各担当部局の審議官3名からも、該当事業の必要性についての認識を答弁いただき、その都度、宝塚市関係者等は、「ありがとうございます」と発言する場面があり、来年度にむけた、予算編成に手応えを感じて帰ってきました。

○ 防災・減災対策の推進に関する要望

○
令和4年11月17日

宝塚市

令和5年度予算編成に対する要望

平素は、本市の防災・減災対策の推進に対し、格別のご尽力とご配慮を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、近年、毎年のように記録的な豪雨や大型台風、地震による自然災害が発生し、昨年7月、8月の梅雨前線に伴う大雨、本年8月の線状降水帯発生による河川の氾濫や土砂災害など、災害の様相も頻発化・激甚化・広域化しています。更に、南海トラフによる巨大地震の発生が懸念されている状況下において、市民の生命・財産を守り、より住みやすく豊かで活力ある地域づくりを進めるためには、河川・砂防などの防災対策はもちろん、迅速な避難・救助活動や復旧・復興を図るための道路・橋梁をはじめとするインフラ整備と老朽化対策を計画的かつ確実に進めていく必要があります。

本市において、令和2年3月に宝塚市地域強靱化計画を策定し、道路・橋梁などのインフラ整備と老朽化対策を計画的に推し進めていきますが、そのためには貴職の深いご理解とご指導が必要であります。

つきましては、次に掲げる事業はいずれも今後の本市の防災・減災力を向上させるために必要不可欠な事業でありますので、令和5年度予算編成に際し、格段のご配慮を賜りますようお願い申し上げます。

記

重点要望事業

1 道路等、社会基盤施設の整備に必要となる予算の確保

災害時の避難・救助、迅速な復旧・復興に不可欠な都市計画道路の着実な整備や、新型コロナ収束後の経済活動V字回復のためのポストコロナ社会を見据えた社会基盤施設の整備促進に必要となる予算の確保をお願いします。

都市計画道路荒地西山線〔小林工区〕

[平成8年度～令和8年度予定]

都市計画道路競馬場高丸線〔鹿塩工区〕〔仁川宮西町工区〕

[平成29年度～令和9年度延伸予定]

都市計画道路尼崎宝塚線〔小浜南工区〕〔兵庫県施工〕

[平成18年度～令和5年度予定]

2 防災・減災、国土強靱化のための対策の充実

事前防災対策や老朽化対策を推進するため、「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」について、必要な予算・財源を例年以上の規模で確保をお願いします。また、5か年加速化対策後も、予算・財源を通常予算とは別枠で確保をお願いします。

二級河川武庫川水系武庫川流域治水対策事業〔本川 武庫川〕

〔支川 大堀川〕

[両事業とも兵庫県施工]

3 社会基盤施設の老朽化対策に必要となる予算の確保

市民生活に密着した、インフラに潜む災害リスクを取り除き、安全・安心な生活基盤を確保するため、予防保全を含む老朽化対策事業の着実な実施に必要となる予算の確保をお願いします。

橋梁長寿命化事業

舗装修繕事業

下水道ストックマネジメント

4 災害復旧に係る体制強化

広域的な大規模災害時の迅速かつ円滑な復旧等に資する、TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の派遣や国による権限代行等が速やかに実施できる体制・機能の拡充・強化をお願いします。

令和4年11月17日

宝塚市長 山崎晴恵



重点要望 街路事業の整備促進

宝塚市

事業概要 (令和5年度予定) 《事業主体》

都市計画道路荒地西山線〔小林工区〕 《宝塚市》

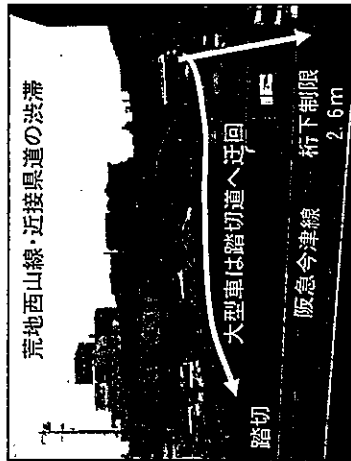
本事業によって道路網の整備を図ることにより、鉄道軌道による中心市街地の分断解消、安全な通学路の確保とともに、周辺踏切の交通量低減を図る。

・軌道西側の掘割区間の整備促進に努める。

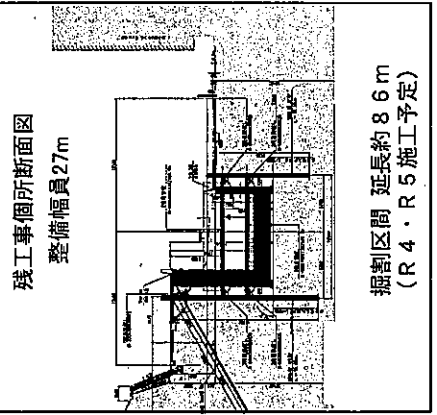
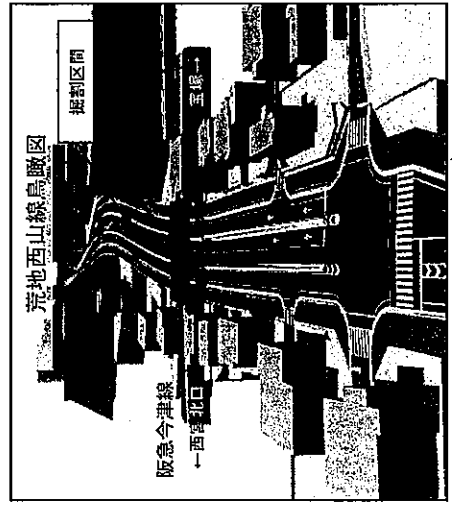
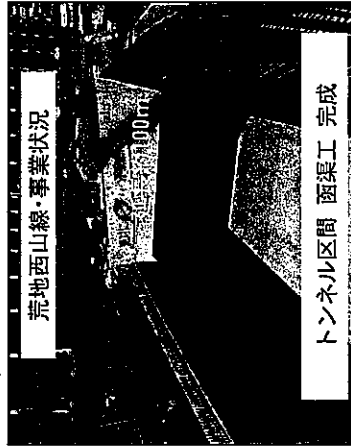
全体事業費：14,000百万円(残事業費1,720百万円(国費946百万円))

状況写真

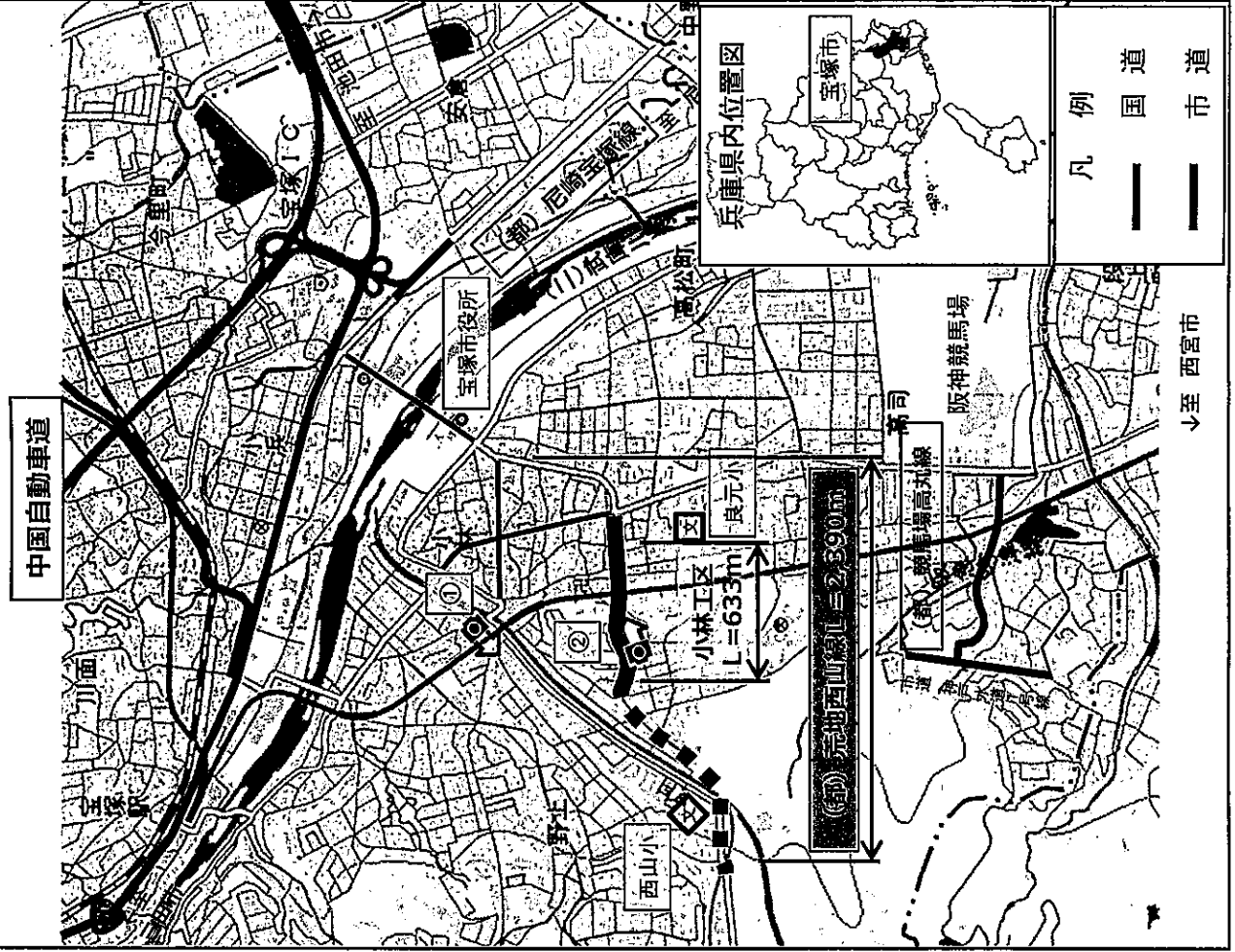
写真①



写真②



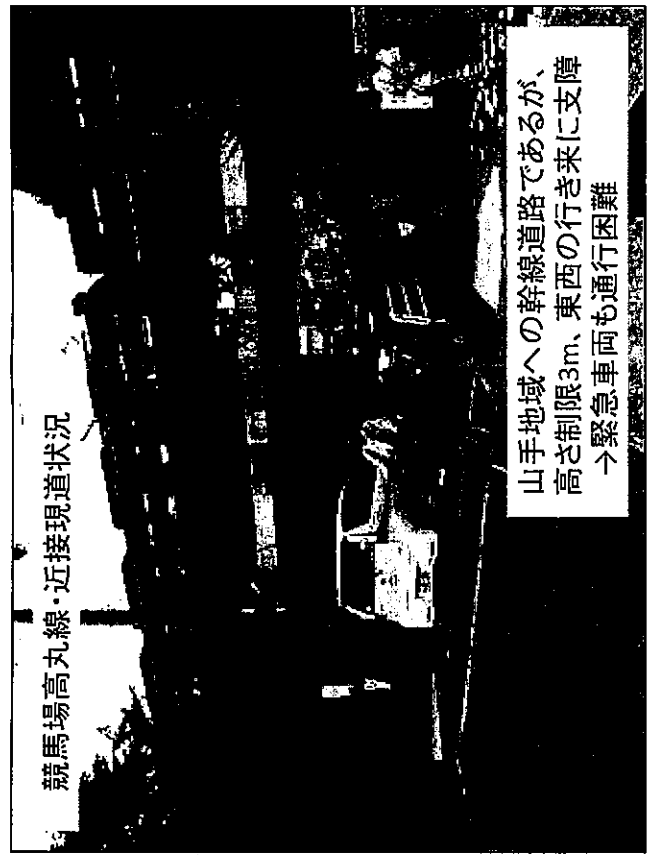
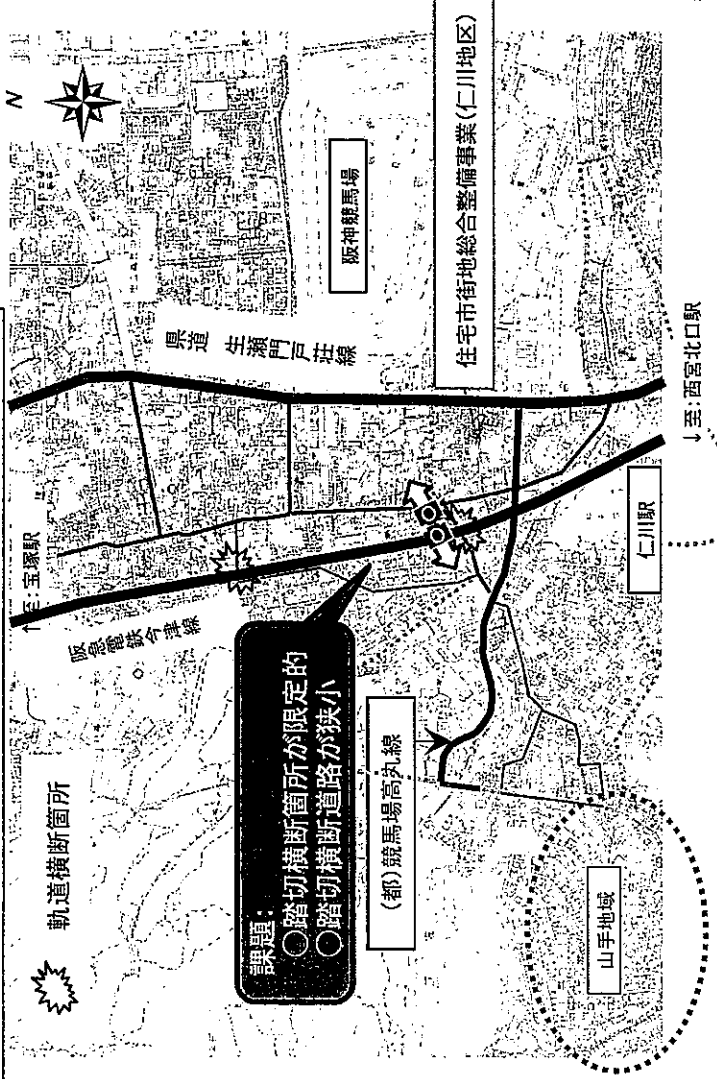
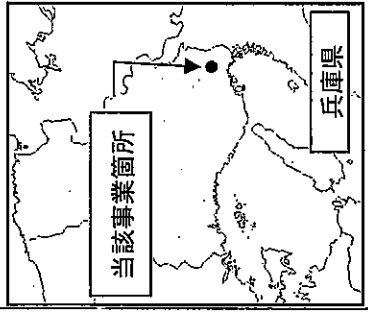
位置図



重点要望 住宅市街地総合整備事業の促進

宝塚市

- 災害に強いまちづくりのための住市総事業の促進
- 社会資本総合整備計画名：
宝塚市における住環境の改善および都市機能の向上計画
- 事業事業名：住宅市街地総合整備事業(仁川地区)
関連公共事業 (都)競馬場高丸線(L=900m、W=14~17m)
- 地区の課題：
宝塚市の仁川地区は、阪神大震災でインフラ不足が課題となった。現在でも以下の図のとおり課題があり、緊急車両の通行に支障をきたしている。
- 整備の目的
頻発する地震災害に備え、災害に強いまちづくりのため、インフラの整備を行う。これにより、山手地域等への緊急車両の到達時間を約半分に短縮する。合わせて、安全な歩行空間の確保を行う。
- 事業期間(街路事業認可期間)
鹿塩工区：平成29年度～令和6年度
仁川宮西町工区：平成29年度～令和5年度
(令和9年度まで延伸予定)
- 総事業費 6,000百万円(国費：3,000百万円)



重点要望 街路事業の整備促進

宝塚市

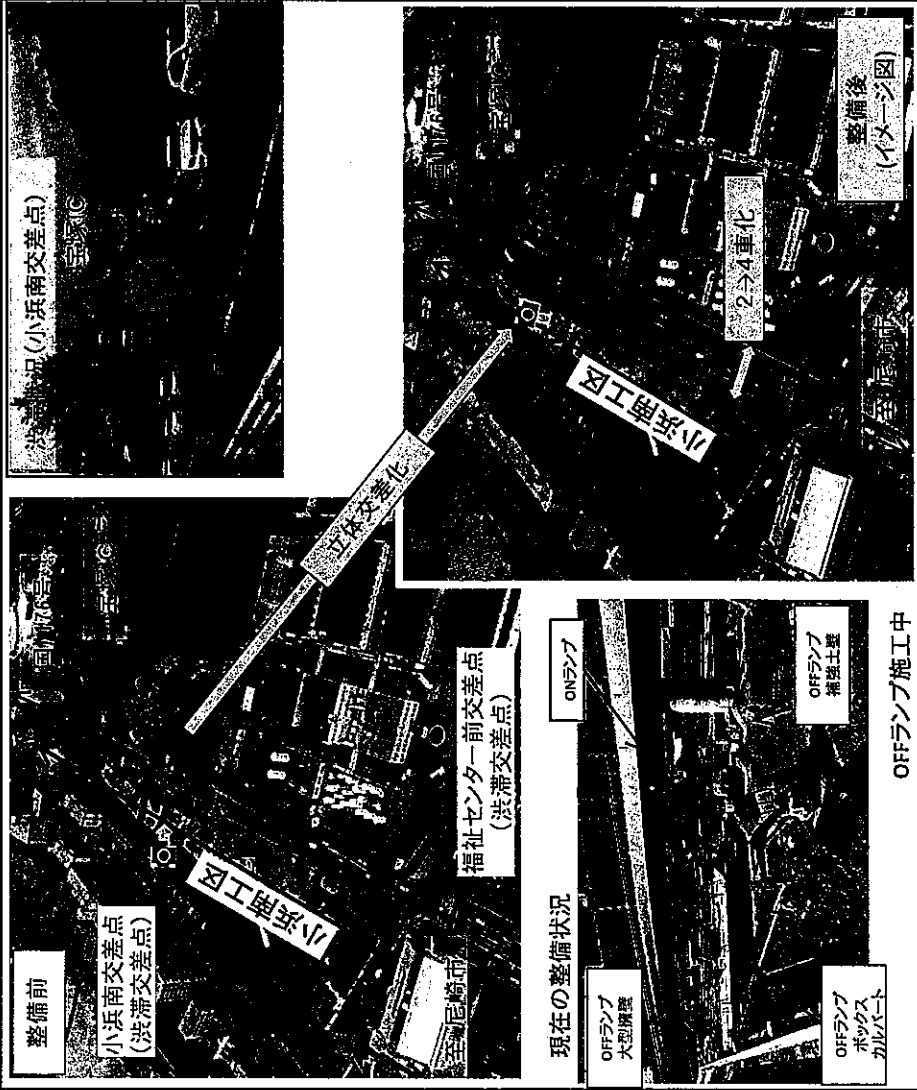
事業概要 (令和5年度予定) 《事業主体》

都市計画道路尼崎宝塚線〔小浜南工区〕 《兵庫県》

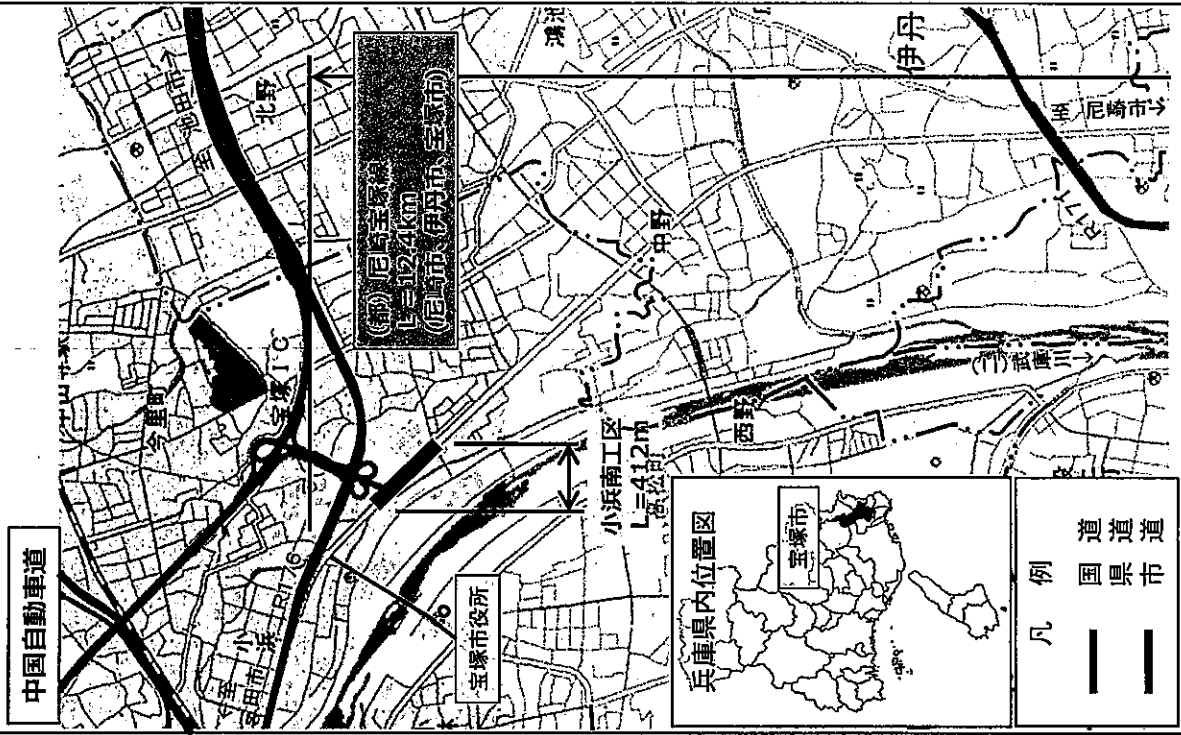
4車線化及び宝塚ICの立体化に併せ、無電柱化を実施することにより、慢性的な渋滞の解消、阪神間の広域ネットワーク形成、都市防災機能の向上に資する。
 ・宝塚ICの立体化工事(NEXCO委託工事)の促進に努める。

全体事業費:4,640百万円(残事業費482百万円(国費241百万円))

状況写真



位置図



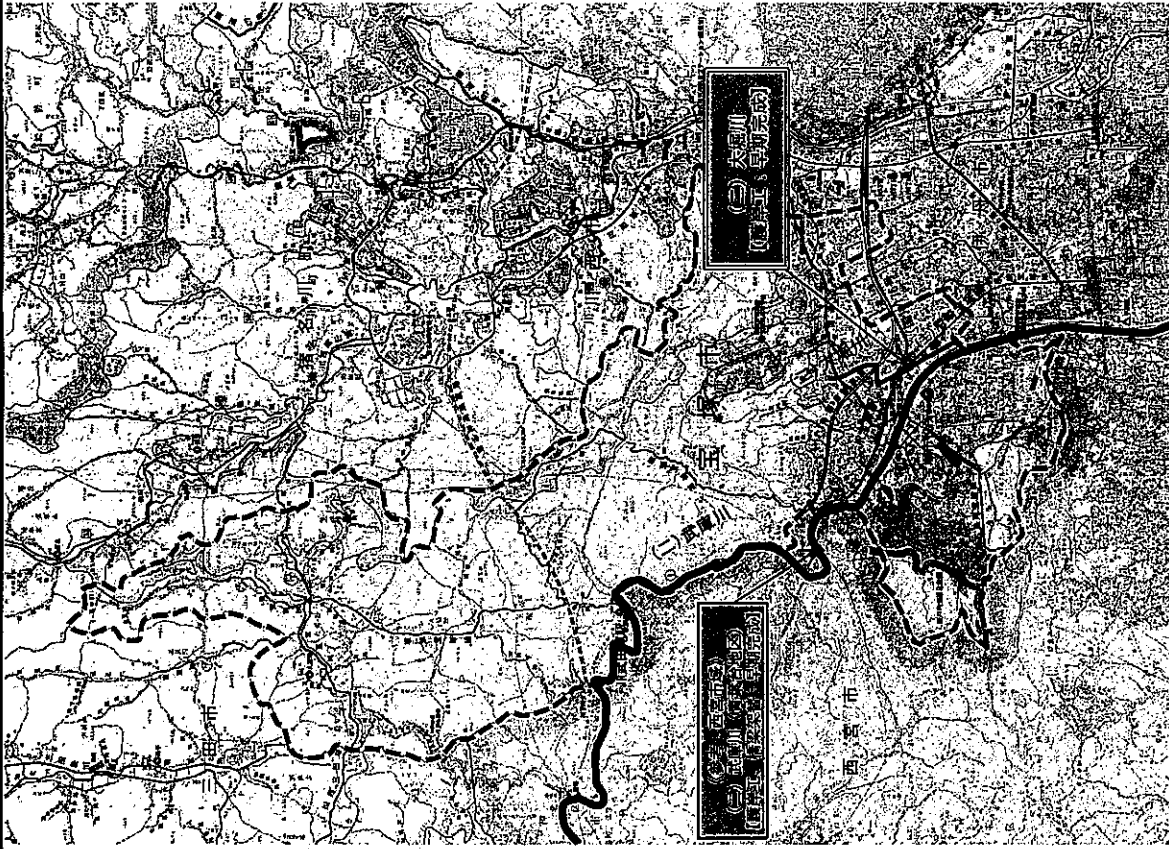
重点要望 河川事業の整備促進

宝塚市

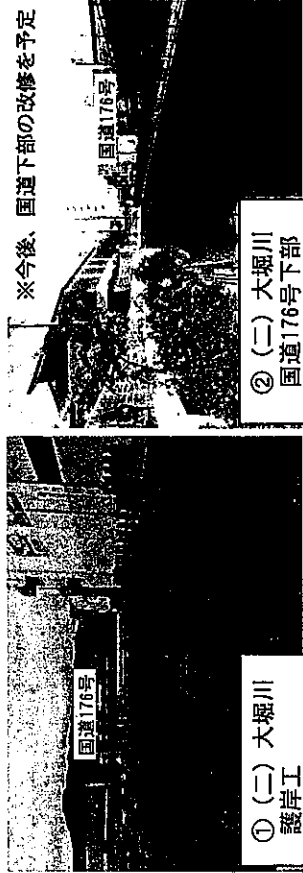
事業概要 (令和5年度予定) 《事業主体》

二級河川武庫川水系 大堀川 《兵庫県》
武庫川水系河川整備計画に基づき、戦後最大洪水を目標に、大堀川の河川改修（断面拡幅）を推進することで、沿川に密集する住宅地の浸水被害を防止し、流域住民の安全・安心な生活環境を確保する。
今後予定する国道176号下部の改修では、大規模な工事となる。

位置図



平面図・状況写真



重点要望 桥梁長寿命化事業

宝塚市

事業概要 (令和5年度予定) 《事業主体》

宝塚市道路橋長寿命化修繕計画(令和2年度見直し)に基づき、宝塚市が管理する道路橋の計画的な修繕や架け替えを実施することで、道路橋の長寿命化を図るとともに、維持管理の効率化を図るとして、ライフサイクルコストを抑制する。

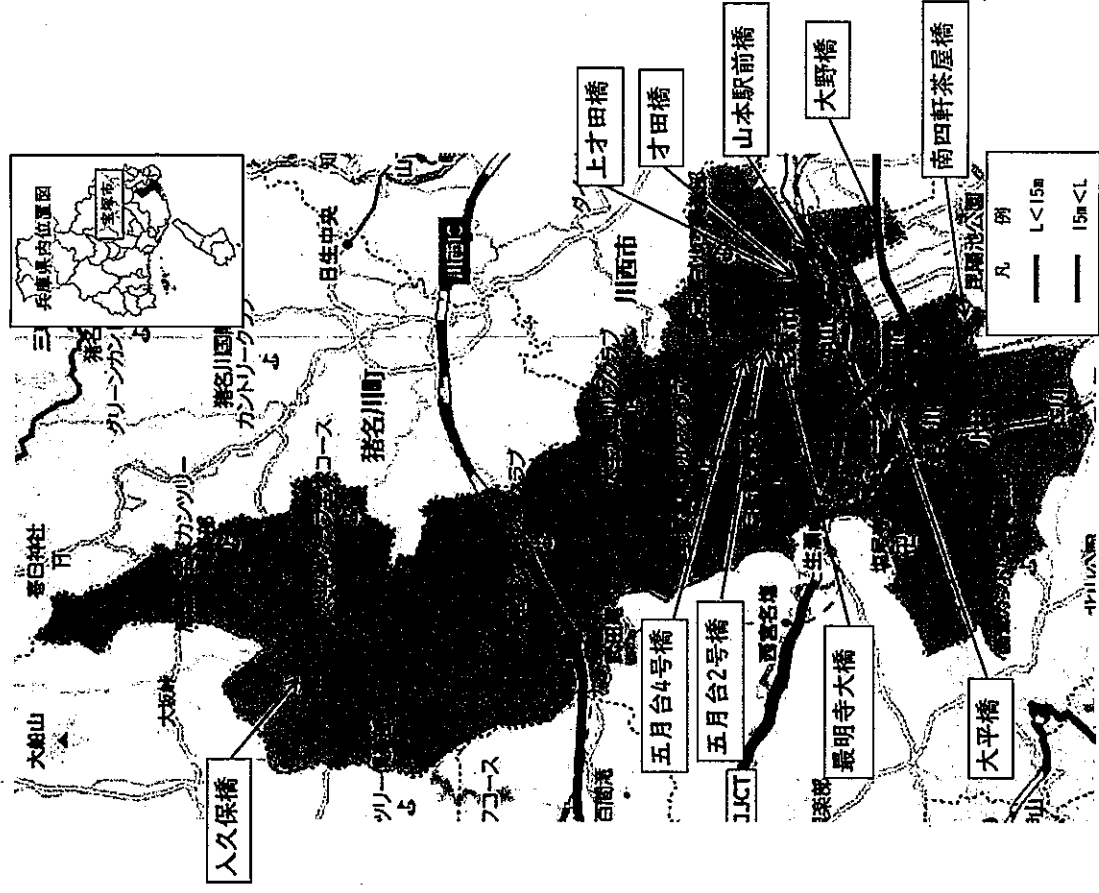
事業期間：平成30年度～
 全体事業費：1500百万円(残事業費400百万円
 (国費220百万円))

令和5年度施工予定箇所 一覧

R5補修桥梁

桥梁名	路線名	R5事業内容
最明寺大橋	市道3259号線	補修設計
大野橋	市道1200号線	補修設計、ひび割れ補修、橋面防水
入久保橋	市道1908号線	補修設計、ひび割れ補修、橋面防水
才田橋	市道1126号線	補修設計、ひび割れ補修、桁替塗装
上才田橋	市道1127号線	補修設計、ひび割れ補修、桁替塗装
大平橋	市道674号線	補修設計、ひび割れ補修、橋面防水
五月台2号橋	市道4555号線	補修設計、ひび割れ補修、橋面防水
五月台4号橋	市道4555号線	補修設計、ひび割れ補修、橋面防水
南四軒茶屋橋	市道宝塚池田線	補修設計、ひび割れ補修、橋面防水
山本駅前橋	市道3464号線	補修設計、ひび割れ補修、橋面防水

位置図



重点要望 舗装修繕事業

宝塚市

事業概要 (令和5年度予定) 《事業主体》

道路築造後相当な年月が経過し、舗装の老朽化が激しい路線について、路面性状調査を実施した結果、早期に対策を行う必要があると判断した箇所について、舗装修繕工事を実施し、通行車両等の安全と地域住民の安心を確保するものである。

事業期間：平成30年度～
 全体事業費：300百万円 (残事業費84百万円 (国費42百万円))

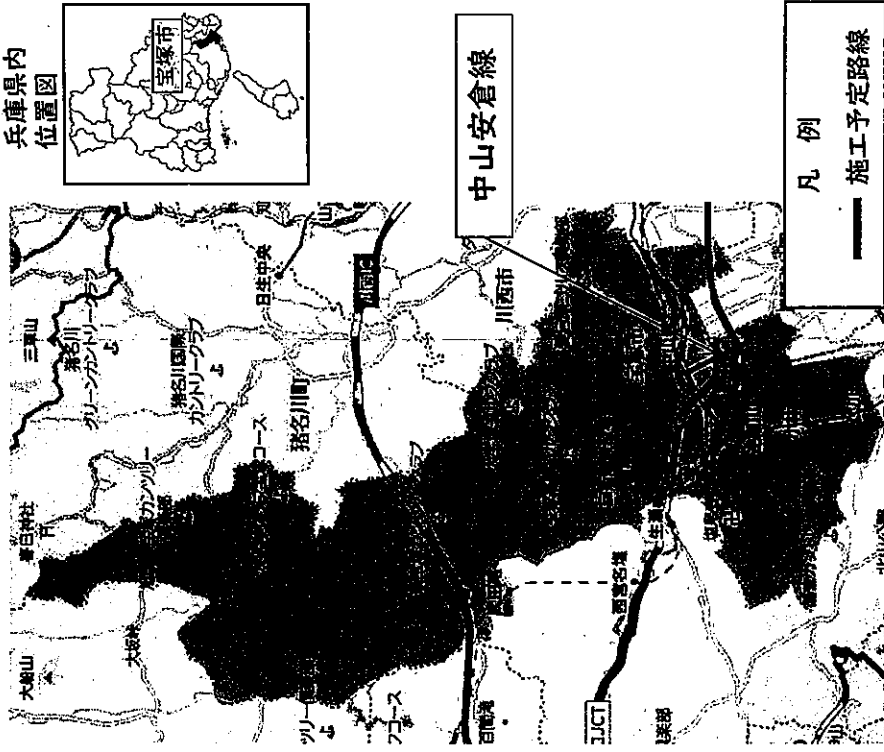
令和5年度施工予定箇所 一覧

路線名 (市道)	内容	数量 (m)
中山安倉線	舗装修繕	60

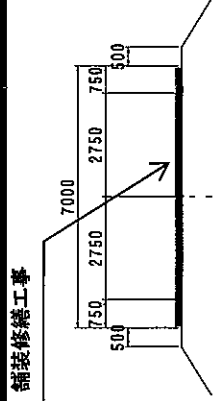
詳細位置図



位置図



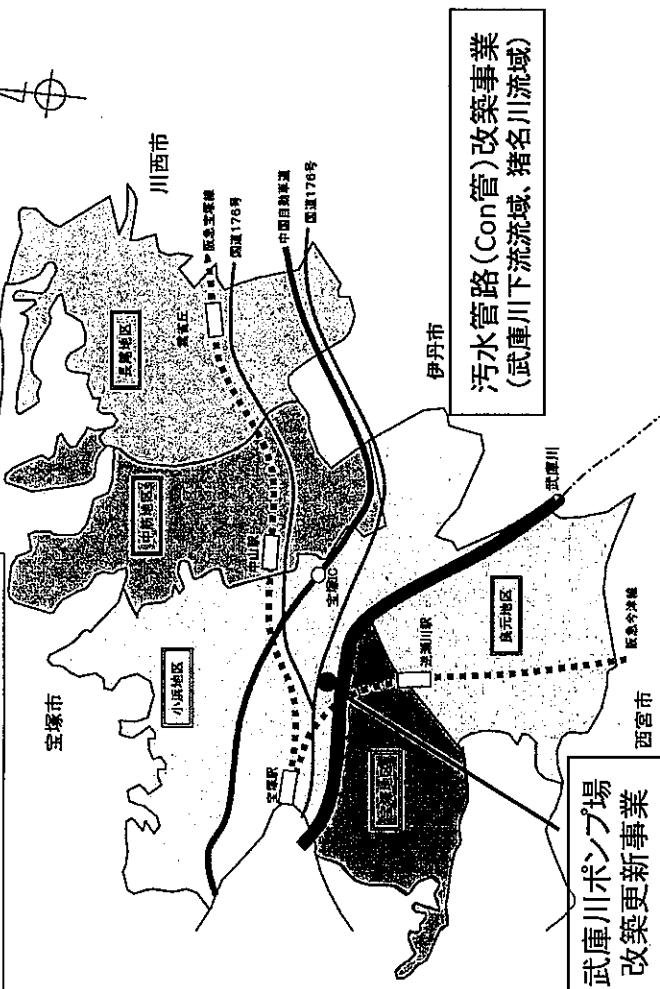
標準断面図



宝塚市下水道ストックマネジメント計画

宝塚市

宝塚市公共下水道計画区域図

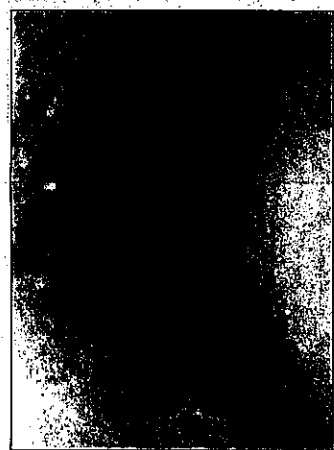


宝塚市公共下水道計画区域図

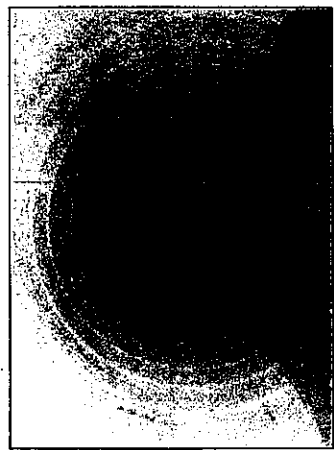
宝塚市公共下水道計画区域図

汚水管路 (Con管) 改築事業

施工前



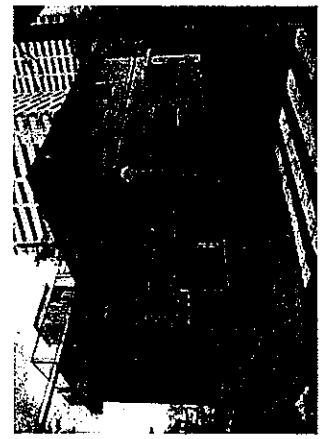
施工後



- 宝塚市下水道ストックマネジメント計画に基づき、汚水管路の更生・耐震化工事を推進し、予防保全型の維持管理に努めます。
(令和3年度～令和7年度 C=556百万)
- 老朽化した雨水ポンプ場を耐震補強により改築更新し、ポンプ場として安定した運用を図ります。
(令和3年度～令和7年度C=985百万)

武庫川ポンプ場改築更新事業

武庫川ポンプ場 (外観)



ポンプ施設内部 (1975年建設)

